

大学番号：私144

注3

[平成27年度設置]

計画の区分：学部設置

注1

認可

金城大学 看護学部

注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人金城学園
平成29年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名	法人本部企画室
職名・氏名	主査・坂 ^{サカ} 口 ^{クチ} 憲 ^{ケン} 二 ^ジ
電話番号	076-276-6630
（夜間）	076-276-6630
F A X	076-275-6651
e-mail	hops@kinjo.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(◇◇学部(平成◇◇年度より学部名称変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・大学新設の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目 次

1	調査対象大学等の概要等	1
	(1) 設置者	1
	(2) 大学名	1
	(3) 大学の位置	1
	(4) 管理運営組織	1
	(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等	2
2	授業科目の概要	5
	(1) 授業科目表	5
	(2) 授業科目数	10
	(3) 未開講科目	11
	(4) 廃止科目	11
	(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」 及び「学生への周知方法」	11
	(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する 「未開講科目と廃止科目の計」の割合	11
3	施設・設備の整備状況, 経費	12
4	既設大学等の状況	14
5	教員組織の状況	16
	(1) 担当教員表	16
	(2) 専任教員数等	24
	(3) 専任教員辞任等の理由	25
	(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」	27
6	留意事項等に対する履行状況等	28
7	その他全般的事項	30
	(1) 設置計画変更事項等	30
	(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む)	30
	(3) 自己点検・評価等に関する事項	31
	(4) 情報公表に関する事項	32
	添付資料1	33
	添付資料2	39
	添付資料3	40

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人金城学園

(2) 大学名 金城大学

(3) 大学の位置

〒924-8511
石川県白山市笠間町1200番地
〒924-0865
石川県白山市倉光1丁目250番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(カトウ シンイチ) 加藤 真一 (平成25年7月)		
学長	(ハンヤ シズオ) 半谷 静雄 (平成26年4月)		
学部長	(ナガヤマ クニコ) 永山 くに子 (平成27年4月)		
学科長等	—		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)
平成29年度に報告する内容 → (29)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成26年度開設の4年制の学科の場合(平成29年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
看護学部 看護学科 学士(看護学)	保健衛生学関係 (看護学関係)	4年	80人	-	320人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	-	-	80	-	80	-	80	-	1.10倍	
志願者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
受験者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
合格者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
B 入学者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
入学定員超過率 B/A	-	-	1.16倍	-	1.10倍	-	1.06倍	-		

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年度で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	— [—] (—)	— [—] (—)	93 [0] (0)	— [—] (—)	88 [0] (0)	— [—] (—)	84 [0] (—)	— [—] (—)	
2年次	/		— [—] (—)	— [—] (—)	91 [0] (0)	— [—] (—)	88 [0] (0)	— [—] (—)	
3年次	/		/		— [—] (—)	— [—] (—)	91 [0] (0)	— [—] (—)	
4年次	/		/		/		— [—] (—)	— [—] (—)	
計	— [] ()		93 [0] (0)		179 [0] (0)		263 [0] (0)		

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成26年度 入学者	- 人	- 人	平成26年度	- 人	- 人		0.00 %
			平成27年度	- 人	- 人		
			平成28年度	- 人	- 人		
			平成29年度	- 人	- 人		
平成27年度 入学者	93 人	2 人	平成27年度	0 人	0 人	就学意欲の低下(1人)、就職(1人)	2.15 %
			平成28年度	2 人	0 人		
			平成29年度	0 人	0 人		
平成28年度 入学者	88 人	0 人	平成28年度	0 人	0 人		0.00 %
			平成29年度	0 人	0 人		
平成29年度 入学者	85 人	1 人	平成29年度	1 人	0 人	他の教育機関への入学(1人)	1.17 %
合 計	266 人	3 人					1.12 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<看護学部 看護学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
基礎科目	スポーツ	1後	1									兼1	
	スポーツ理論	2前	2									兼1	担当者変更の理由により、教員を削除及び追加(28)
	レクリエーション活動Ⅰ	1前		1								兼1	担当者変更の理由により、教員を削除及び追加(28) 担当者変更の理由により、教員を削除及び追加(27)
	レクリエーション活動Ⅱ	1後		1								兼1	担当者変更の理由により、教員を削除及び追加(28) 担当者変更の理由により、教員を削除及び追加(27)
	英語Ⅰ	1前	1									兼 5 ⁴	教育体制充実の理由により、教員を追加(27) 担当者変更の理由により、教員を削除及び追加(29)
	英語Ⅱ	1前	1									兼 5 ⁴	教育体制充実の理由により、教員を追加(27) 担当者変更の理由により、教員を削除及び追加(29)
	英語Ⅲ	1後	1									兼 5 ⁴	教育体制充実の理由により、教員を追加(27) 担当者変更の理由により、教員を削除及び追加(29)
	英語Ⅳ	1後	1									兼 5 ⁴	教育体制充実の理由により、教員を追加(27) 担当者変更の理由により、教員を削除及び追加(29)
	言葉と文化(英語)Ⅰ	未開講 2前		1								兼1	履修希望者なしのため未開講(29) 履修希望者なしのため未開講(28)
	言葉と文化(英語)Ⅱ	未開講 2後		1								兼1	履修希望者なしのため未開講(29)
	言葉と文化(中国語)Ⅰ	2前		1								兼1	
	言葉と文化(中国語)Ⅱ	未開講 2後		1								兼1	履修希望者なしのため未開講(29)
	医学英語	未開講 3前		1								兼1	履修希望者なしのため未開講(29)
	情報処理演習Ⅰ	1前	1									兼2	
	情報処理演習Ⅱ	1後		1								兼1	
	基礎演習Ⅰ	1前	1				1	1	0 ¹		1	兼1	専任教員(東知宏講師)退職の理由により、教員を削除、平成29年度の代替措置として兼任教員を追加(29) 専任補充のため、教員を追加するべく平成29年3月変更書提出済み(29)
	基礎演習Ⅱ	1後	1				1	1	1 ³ 2		4	兼 1 ¹	専任教員交代の理由により、教員を削除及び追加(29) 担当 宮崎彩乃(助教) 平成29年1月 教員審査済 判定 可 専任補充のため、教員を追加するべく平成29年3月変更書提出済み(29) 休職に伴う専任補充の理由により、教員を追加(28) 担当 下田裕子(講師) 平成27年7月 教員審査済 判定 可 専任教員交代の理由により、教員を削除及び追加(28) 担当 梶井敬子(助教) 平成28年1月 教員審査済 判定 可
小計(17科目)	—	—	10	8	0	2	1	1 ³ 2		4	0	兼 11 ¹¹	
主題科目	ボランティア入門	1前	2									兼1	
	ボランティア活動Ⅰ	1通		1			1	1			2	兼1	専任教員交代の理由により、教員を削除及び追加(29) 担当 宮崎彩乃(助教) 平成29年1月 教員審査済 判定 可
	ボランティア活動Ⅱ	未開講 2通		1					1 ³		1	兼1	専任教員交代の理由により、教員を削除及び追加(29) 担当 宮崎彩乃(助教) 平成29年1月 教員審査済 判定 可 専任補充のため、教員を追加するべく平成29年3月変更書提出済み(29) 履修希望者なしのため未開講(29)
	統計学	未開講 2後		1								兼1	履修希望者なしのため未開講(29)
	自然科学Ⅰ(生物系)	1前		2								兼1	
	自然科学Ⅱ(物理系)	未開講 1後		2								兼1	履修希望者なしのため未開講(29) 履修希望者なしのため未開講(28)
	自然科学Ⅲ(数学系)	1前		2								兼1	
	自然科学Ⅳ(化学系)	1後		2								兼1	
	自然科学概論	1前		2								兼1	
	環境論	未開講 2後		2								兼1	履修希望者なしのため未開講(29)
	白山市の自然と文化	1前		2								兼1	
社会学	2後		2								兼1		
ソーシャルワーク論Ⅰ	未開講 3前		2								兼1	履修希望者なしのため未開講(29)	

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
主 題 科 目	ソーシャルワーク論Ⅱ	4後 未開講		2							兼1	
	介護福祉論Ⅰ	3前		2							兼1	担当者変更の理由により、教員を削除及び追加(29) 履修希望者なしのため未開講(29)
	介護福祉論Ⅱ	4後		2							兼1	担当者変更の理由により、教員を削除及び追加(29)
	高齢者福祉論	1前		2							兼1	
	障害者福祉論	1後		2							兼1	
	法学(憲法)Ⅰ	2前		2							兼1	
	法学Ⅱ	2後		2							兼1	履修希望者なしのため未開講(29)
	医療関係法	4後		2							兼1	
	美術	1後		2							兼1	担当者変更の理由により、教員を削除及び追加(29)
	日本文学Ⅰ	2前		2							兼1	履修希望者なしのため未開講(29)
	日本文学Ⅱ	2後		2							兼1	
	日本史Ⅰ	1後		2							兼1	
	日本史Ⅱ	1後		2							兼1	通常開講(29) 履修希望者なしのため未開講(28)
	東洋史	2後		2							兼1	
小計(27科目)	—		2	49	0	1	1	3	2	0	兼15	
専 門 基 本 科 目	解剖生理学Ⅰ	1前	2			1						担当者変更の理由により、教員を削除及び追加(29) 担当 半谷静雄(教授) 平成29年1月 教員審査済 判定 可
	解剖生理学Ⅱ	1後	2			♀					兼1	担当者変更の理由により、教員を削除及び追加(29)
	解剖生理学実習	1後	1			1			2			担当者変更の理由により、教員を削除及び追加(29) 担当 半谷静雄(教授) 平成29年1月 教員審査済 判定 可
	栄養代謝学	1前	1			♀					兼1	専任教員(曾我浩之教授)退職の理由により、教員を 削除。平成29年度の代替措置として兼任教員を追加。 平成29年6月変更書提出予定(29)
	微生物学	2前	1								兼1	
	人類遺伝・発生学	2前	1			♀					兼1	専任教員(曾我浩之教授)退職の理由により、教員を 削除。平成29年度の代替措置として兼任教員を追加。 平成29年6月変更書提出予定(29)
	免疫学	2後	1			♀						専任教員(曾我浩之教授)退職の理由により、教員を 削除。平成29年6月変更書提出予定(29)
	医学概論	1後	1			1						教育効果の理由により、配当学期を変更(28)
	病理病態学	1後	2			1						
	診断治療学Ⅰ(内科系)	2前	2								兼1	
	診断治療学Ⅱ(外科系)	2前	1								兼2	オムバス
	診断治療学Ⅲ(周産期)	2前	1								兼1	
	診断治療学Ⅳ(小児)	2後	1			1						
	診断治療学Ⅴ(精神)	2後	1								兼1	
	臨床栄養学	2前	1								兼1	
	臨床薬理学	2後	2								兼1	
	リハビリテーション概論	1前 未開講	1			1					兼1	通常開講(28) 教育体制充実の理由により、教員を追加。履修希望者 なしのため未開講(27)
	臨床心理学Ⅰ	2前	1								兼1	担当者変更の理由により、教員を削除及び追加(29)
	臨床心理学Ⅱ	2後	1								兼1	担当者変更の理由により、教員を削除及び追加(28) 担当者変更の理由により、教員を削除及び追加(29) 担当者変更の理由により、教員を削除及び追加(28)
	心理学	1通	4								兼1	担当者変更の理由により、教員を削除及び追加(29)
	カウンセリング演習	2後	1								兼1	
	高齢者の心理	4後	2								兼1	
	障害者の心理	4後	2								兼1	
	安全管理	2後	1								兼1	
	感染防御	2後	1								兼1	
	保健医療概論	1前	1			1						
	保健医療制度論	1後	1								兼1	
社会保障制度論	1後	1		1						兼1		
石川県・白山市の保健医療事情	2前	1								兼1		
看護関係法規	2後	1			1							
公衆衛生学	1前	2								兼1		
疫学・保健統計入門	2前	1								兼1	教育体制充実の理由により、教員を追加(27)	
社会福祉概論Ⅰ	2前 未開講	2								兼1	履修希望者なしのため未開講(29)	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基本科目	社会福祉概論Ⅱ	本講1後		2								兼1 履修希望者なしのため未開講(29) 履修希望者なしのため未開講(28)
	小計(34科目)	—	33	14	0	3 4	0	0	0	2	兼1 兼18	
専門展開科目	看護概論	1前	2			1						
	看護理論	1後	2			♀						専任教員(山本澄子教授)退職の理由により、教員を削除。専任補充のため、教員を追加するべく平成29年3月変更書提出済み(29)
	看護倫理	1後	2			♀						専任教員(吉岡一実教授)退職の理由により、教員を削除。平成29年6月変更書提出予定(29)
	看護情報論	3前		1		♀					兼1	専任教員(吉岡一実教授)退職の理由により、教員を削除。平成29年度の代替措置として兼任教員を追加。平成29年6月変更書提出予定(29)
	基礎看護学方法論	1後	2			♀						専任教員(吉岡一実教授)退職の理由により、教員を削除。平成29年6月変更書提出予定(29)
	基礎看護学方法論演習Ⅰ	1後	1			♀ 2		1		1		専任教員交代の理由により、教員を削除及び追加(29) 担当 田淵祥恵(講師) 平成29年1月 教員審査済 判定 可 専任補充のため、教員を追加するべく平成29年3月変更書提出済み(29) 平成29年6月変更書提出予定(29) 平成29年12月変更書提出予定(29) 共同
	基礎看護学方法論演習Ⅱ	2前	1			♀ 2		1	1	1		専任教員交代の理由により、教員を削除及び追加(29) 担当 田淵祥恵(講師) 平成29年1月 教員審査済 判定 可 平成29年6月変更書提出予定(29) 平成29年12月変更書提出予定(29) 共同
	基礎看護学実習Ⅰ	1前	1			♀ 3	1	2 2	4	3		専任教員交代の理由により、教員を削除及び追加(29) 担当 田淵祥恵(講師) 平成29年1月 教員審査済 判定 可 担当 宮崎彰乃(助教) 平成29年1月 教員審査済 判定 可 平成29年6月変更書提出予定(29) 平成29年12月変更書提出予定(29) 教育体制充実の理由により、教員を追加(28) 担当 下田裕子(講師) 平成27年7月 教員審査済 判定 可 専任教員交代の理由により、教員を削除及び追加(28) 担当 梶井敬子(助教) 平成28年1月 教員審査済 判定 可
	基礎看護学実習Ⅱ	2後	2			♀ 5	1	2 3	4	4		専任教員交代の理由により、教員を削除及び追加(29) 担当 田淵祥恵(講師) 平成29年1月 教員審査済 判定 可 担当 宮崎彰乃(助教) 平成29年1月 教員審査済 判定 可 専任補充のため、教員を追加するべく平成29年3月変更書提出済み(29) 平成29年6月変更書提出予定(29) 平成29年12月変更書提出予定(29) 専任教員交代の理由により、教員を削除及び追加(28) 担当 梶井敬子(助教) 平成28年1月 教員審査済 判定 可
	成人看護学概論	1後	1			♀						専任教員(新谷恵子教授)退職の理由により、教員を削除。専任補充のため、教員を追加するべく平成29年3月変更書提出済み(29)
	成人看護論Ⅰ(健康期)	2前	1			♀	1				兼1	専任教員(新谷恵子教授)退職の理由により、教員を削除。専任補充のため、教員を追加するべく平成29年3月変更書提出済み(29) 共同
	成人看護論Ⅱ(急性期)	2前	1			♀	1				兼1	専任教員(新谷恵子教授)退職の理由により、教員を削除。専任補充のため、教員を追加するべく平成29年3月変更書提出済み(29) 共同
	成人看護論Ⅲ(回復期)	2前	1			1 2					兼1	専任教員(新谷恵子教授)退職の理由により、教員を削除。専任補充のため、教員を追加するべく平成29年3月変更書提出済み(29) 共同
	成人看護論Ⅳ(慢性期)	2前	1			1 2					兼1	専任教員(新谷恵子教授)退職の理由により、教員を削除。専任補充のため、教員を追加するべく平成29年3月変更書提出済み(29) 共同
成人看護論Ⅴ(終末期)	2前	1			♀					兼1	専任教員(新谷恵子教授)退職の理由により、教員を削除。平成29年度の代替措置として兼任教員を追加。専任補充のため、教員を追加するべく平成29年3月変更書提出済み(29)	
成人看護学演習Ⅰ	2後	1			1			1	1		専任教員交代の理由により、教員を削除及び追加(29) 担当 宮崎彰乃(助教) 平成29年1月 教員審査済 判定 可 共同	
成人看護学演習Ⅱ	2後	1				1	1		1		共同	

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
専 門 展 開 科 目	成人看護学実習Ⅰ	3後	3			1/2	1	1	1	1	専任教員交代の理由により、教員を削除及び追加(29) 担当 宮崎彩乃(助教) 平成29年1月 教員審査済 判定 可 専任教員(新谷恵子教授)退職の理由により、教員を 削除。専任補充のため、教員を追加するべく平成29年 3月変更書提出済み(29)
	成人看護学実習Ⅱ	3後	3			1/2	1	1	1	1	兼 1 専任教員交代の理由により、教員を削除及び追加(29) 担当 宮崎彩乃(助教) 平成29年1月 教員審査済 判定 可 教育体制充実の理由により、教員を追加するべく平成 29年3月変更書提出済み(29)
	高齢者看護学概論	2後	1			1					オムバス
	高齢者看護論	3前	2			1		1			共同
	高齢者看護学演習	3前	1					2		1	共同
	高齢者看護学実習Ⅰ	3後	2			2		2	0	1	専任補充のため、教員を追加するべく平成29年3月変 更書提出済み(29) 専任教員(河村美芳助教)退職の理由により、教員を 削除。平成28年10月変更書提出予定(28)
	高齢者看護学実習Ⅱ	3後	2			2		2	0	1	専任補充のため、教員を追加するべく平成29年3月変 更書提出済み(29) 専任教員(河村美芳助教)退職の理由により、教員を 削除。平成28年10月変更書提出予定(28)
	小児看護学概論	2後	1			1					オムバス
	小児看護論	3前	2			1			1		共同
	小児看護学演習	3前	1			1			1	1	共同
	小児看護学実習	4前	2			1			1	2	
	母性看護学概論	2後	1			1					
	母性看護論	3前	2			2					専任教員交代の理由により、教員を削除及び追加(29) 担当 柳原真知子(教授) 平成29年1月 教員審査済 判定 可 オムバス
	母性看護学演習	3前	1			1			1	1	専任教員交代の理由により、教員を削除及び追加(28) 担当 梶井敬子(助教) 平成28年1月 教員審査済 判定 可 共同
	母性看護学実習	4前	2			2			1	1	専任教員交代の理由により、教員を削除及び追加(29) 担当 柳原真知子(教授) 平成29年1月 教員審査済 判定 可 専任教員交代の理由により、教員を削除及び追加(28) 担当 梶井敬子(助教) 平成28年1月 教員審査済 判定 可
	精神看護学概論	2後	1			1					
	精神看護論	3前	2			1					
	精神看護学演習	3前	1			1		0		1	兼 1 専任教員(藤川君江講師)退職の理由により、教員を 削除。平成29年度の代替措置として兼任教員を追加。 平成29年12月変更書提出予定(29) 共同
	精神看護学実習	4前	2			1/2		0		1	専任教員(吉岡一実教授、藤川君江講師)退職の理由 により、教員を削除。平成29年12月変更書提出予定 (29)
	在宅看護学概論	2後	1			1					
在宅看護論	3前	2			1	1				オムバス	
在宅看護学演習	3前	1			1	1			1	共同	
在宅看護学実習	4前	2			1	1		0	1	専任教員(武田陽子助教)退職の理由により、教員を 削除。平成29年12月変更書提出予定(29)	
統合実習	4通	2			7/10	2	4/5		4	専任教員交代の理由により、教員を削除及び追加(29) 担当 柳原真知子(教授) 平成29年1月 教員審査済 判定 可 担当 田淵祥恵(講師) 平成29年1月 教員審査済 判定 可 担当 宮崎彩乃(助教) 平成29年1月 教員審査済 判定 可 専任教員(新谷恵子教授)退職の理由により、教員を 削除。専任補充のため、教員を追加するべく平成29年 3月変更書提出済み(29) 専任教員(山本澄子教授、吉岡一実教授、藤川君江講 師)退職の理由により、教員を削除。平成29年6月変 更書提出予定。平成29年12月変更書提出予定(29) 専任教員交代の理由により、教員を削除及び追加(28) 担当 梶井敬子(助教) 平成28年1月 教員審査済 判定 可	
看護管理論	3前	1			1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門展開科目	看護教育論	3前		1		0					兼1	専任教員（山本澄子教授）退職の理由により、教員を削除。平成29年度の代替措置として兼任教員を追加。専任補充のため、教員を追加するべく平成29年3月変更書提出済み(29)
	チーム医療論	2後	1			1					兼2	共同
	チーム医療演習	3前	1			1					兼1	
	地域と看護	2後		1							兼1	担当者変更の理由により、教員を削除及び追加(29)
	災害看護論	3前	1							兼1		
	国際看護論	3前	1			1						
	看護学研究法	2後	2			2		0				専任教員（東知宏講師）退職の理由により、教員を削除。専任補充のため、教員を追加するべく平成29年3月変更書提出済み(29)
	看護英語	3前		1							兼1	専任教員（吉岡一実教授）退職の理由により、教員を削除。平成29年6月変更書提出予定(29)
	卒業研究ゼミⅠ	3通	1			8	2	4				専任教員交代の理由により、教員を削除及び追加(29) 担当 柳原真知子（教授） 平成29年1月 教員審査済 判定 可 担当 田淵祥恵（講師） 平成29年1月 教員審査済 判定 可
	卒業研究ゼミⅡ	4通	1			8	2	4				専任教員（新谷恵子教授）退職の理由により、教員を削除。専任補充のため、教員を追加するべく平成29年3月変更書提出済み(29) 専任教員（山本澄子教授、吉岡一実教授、藤川君江講師）退職の理由により、教員を削除。平成29年6月変更書提出予定。平成29年12月変更書提出予定(29) 教育体制充実の理由により、教員を追加(28) 担当 下田裕子（講師） 平成27年7月 教員審査済 判定 可
卒業論文	4通	1			8	2	4				専任教員交代の理由により、教員を削除及び追加(29) 担当 柳原真知子（教授） 平成29年1月 教員審査済 判定 可 担当 田淵祥恵（講師） 平成29年1月 教員審査済 判定 可 専任教員（新谷恵子教授）退職の理由により、教員を削除。専任補充のため、教員を追加するべく平成29年3月変更書提出済み(29) 専任教員（山本澄子教授、吉岡一実教授、藤川君江講師）退職の理由により、教員を削除。平成29年6月変更書提出予定。平成29年12月変更書提出予定(29) 教育体制充実の理由により、教員を追加(28) 担当 下田裕子（講師） 平成27年7月 教員審査済 判定 可	
小計（53科目）	—	74	4	0	9	2	4	4	5	兼8	—	
合計（131科目）	—	119	75	0	10	2	4	4	5	兼49	48 49	

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時（平成28年度に認可（届出）された大学等は設置認可（届出）時より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。（今後審査を受ける場合

には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。）

- ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等（平成19年度認可以前）についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え直し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
86	45	0	131	86	45	0	131	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

(注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目 ※該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目 ※該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	金城大学短期大学部と 共用 2,239.40㎡ 借用面積：2,237.26㎡ 借用期間：50年 自治体による道路改良 事業に係る増減のため (27)			
	校舎敷地	2,239.40 -2,337.26 ㎡	84,439.00 -84,538.00 ㎡	0 ㎡	86,678.40 -86,875.26 ㎡				
	運動場用地	0 ㎡	18,379.00 -18,511.00 ㎡	0 ㎡	18,379.00 -18,511.00 ㎡				
	小 計	2,239.40 -2,337.26 ㎡	102,818.00 -103,049.00 ㎡	0 ㎡	105,057.40 -105,386.26 ㎡				
	そ の 他	0 ㎡	8,935.00 -9,197.81 ㎡	1,978.00 ㎡	10,913.00 -11,175.81 ㎡				
	合 計	2,239.40 -2,337.26 ㎡	111,753.00 -112,246.81 ㎡	1,978.00 ㎡	115,970.40 -116,562.07 ㎡				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	金城大学短期大学部と 共用 土地の借用面積： 2,239.40㎡ 2,237.26㎡ 借用期間：50年 建築設計と登記上の面 積の誤差のため(27)				
	18,602.44 -18,604.98 ㎡	2,929.48 ㎡	8,911.94 ㎡	30,443.86 -30,446.40 ㎡					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体			
	36 室	21 室	16 室	1 室 (補助職員 0人)	0 室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数						
	看護学部看護学科		23 室						
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	金城大学短期大学部と の共用分を含む全体 図書101,000冊 学術雑誌321種 視聴覚資料1,382点 教育環境の向上等を考 え見直したため(27) 教育環境の向上等を考 え見直したため(28) 教育環境の向上等を考 え見直したため(29)	
	看護学部 看護学科	11,079 [1,173] (11,394 [1,057]) (+0,788 [-1,051]) (+0,204 [-1,035]) (+0,199 [-1,033])	115 [33] (115 [33])	7 [7] (7 [7])	341 343 (341)	3,037 3,281 -3,271 -3,244 (-3,037)	58 (58)		
	計	11,079 [1,173] (11,394 [1,057]) (+0,788 [-1,051]) (+0,204 [-1,035]) (+0,199 [-1,033])	115 [33] (115 [33])	7 [7] (7 [7])	341 343 (341)	3,037 3,281 -3,271 -3,244 (-3,037)	58 (58)		
(6) 図 書 館	面積	閲覧座席数	収 納 可 能 冊 数	金城大学短期大学部と 共用					
	788.23 ㎡	244 席	83,000 冊	空間キャンパス： 673.93㎡、 閲覧席212席 松任キャンパス： 114.30㎡、 閲覧席32席					
(7) 体 育 館	面積	体育館以外のスポーツ施設の概要				金城大学短期大学部と 共用			
	2,722.39 ㎡	テニスコート7面							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書費に電子ジャーナル、データベースの整備費（運用コスト等を含む）を含む。 設備は白山石川医療企業団が購入し、同企業団から無償貸与を受ける。
		教員 1 人当り研究費等	500千円	500千円	図書購入費	17,300千円	2,522 -2,500 千円	1,000千円	
		共 同 研 究 費 等	5,000千円	5,000千円	設備購入費	5,246 -5,000 千円	1,875 -5,000 千円	5,000千円	
	学生 1 人当り 納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次		教育環境の向上等を考 え見直したため(27)
		1,670千円	1,400千円	1,450千円	1,450千円	- 千円	- 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		手数料収入、私立大学経常費補助金収入、資産運用収入等で充当							教育環境の向上等を考 え見直したため(28)

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	金城大学								備考	
既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学員	収定学員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年	設年度	所在地	
看護学部看護学科	4	80	—	320	学士 (看護学)	1.10	平成27年度		石川県白山市笠間町1200番地及び 石川県白山市倉光1丁目250番地	平成27年度増設
社会福祉学部社会福祉学科										
社会福祉専攻	4	100	3年次 ₅	410	学士 (社会福祉学)	0.76	平成12年度		石川県白山市笠間町1200番地	
こども専攻	4	50	3年次 ₅	210	学士 (子ども福祉学)	0.96	平成19年度		同上	
医療健康学部										
理学療法学科	4	65	—	260	学士 (理学療法学)	1.08	平成19年度		同上	
作業療法学科	4	35	—	140	学士 (作業療法学)	0.90	平成25年度		同上	
大学院										
総合リハビリテーション学研究科										
総合リハビリテーション学専攻	2	5	—	10	修士 (リハビリテーション学)	0.50	平成27年度		同上	
大学の名称	金城大学短期大学部								備考	
既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学員	収定学員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年	設年度	所在地	
幼児教育学科	2	150	—	300	短期大学士 (幼児教育)	1.07	昭和51年度		石川県白山市笠間町1200番地	
美術学科	2	65	—	130	短期大学士 (美術)	1.05	昭和51年度		同上	
ビジネス実務学科	2	135	—	270	短期大学士 (ビジネス実務)	0.89	昭和59年度		同上	
留学生別科	1	20	—	20		0.15	平成16年度		同上	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部，学科），大学院（専攻）及び短期大学（学科）（AC対象学部等含む）について，それぞれの学校種ごとに，平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等，「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には，課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
※なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」，短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「一」とし，「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<看護学部 看護学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授(学長)	ハンヤ シズオ 半谷 静雄	平成27年4月	病理病態学 チーム医療論 チーム医療演習	専	教授(学長)	ハンヤ シズオ 半谷 静雄	平成27年4月	病理病態学 チーム医療論 チーム医療演習 解剖生理学Ⅰ 解剖生理学実習	解剖生理学Ⅰ、解剖生理学実習の担当を追加(29)
専	教授(学部長)	ナガヤマ クニコ 永山 くに子	平成27年4月	看護概論 基礎看護学実習Ⅱ 母性看護学概論 母性看護論※ 母性看護学実習 国際看護論 卒業研究ゼミⅠ 卒業研究ゼミⅡ 卒業論文						
専	教授	マツシマ アキヒロ 松島 昭廣	平成27年4月	医学概論 診断治療学Ⅳ(小児) 保健医療概論						
専	教授	タカヤマ シゲコ 高山 成子	平成28年4月	看護関係法規 基礎看護学実習Ⅱ 高齢者看護学概論 高齢者看護学実習Ⅰ 高齢者看護学実習Ⅱ 統合実習 看護管理論 看護学研究法※ 卒業研究ゼミⅠ 卒業研究ゼミⅡ 卒業論文						
専	教授	ハヤシ テカコ 林 稚佳子	平成29年4月	高齢者看護論※ 高齢者看護学実習Ⅰ 高齢者看護学実習Ⅱ 統合実習 卒業研究ゼミⅠ 卒業研究ゼミⅡ 卒業論文						
専	教授	ヤマモト スミコ 山本 澄子	平成27年4月	看護理論 基礎看護学方法論演習Ⅰ 基礎看護学方法論演習Ⅱ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 統合実習 看護教育論 卒業研究ゼミⅠ 卒業研究ゼミⅡ 卒業論文			後任未定		看護理論 基礎看護学方法論演習Ⅰ 基礎看護学方法論演習Ⅱ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 統合実習 卒業研究ゼミⅠ 卒業研究ゼミⅡ 卒業論文	平成29年3月 山本澄子教授辞任(29) 「後任未定」平成29年10月から他の専任教員で一部を担当するべく平成29年3月変更書提出済み。また、平成29年10月から専任教員採用予定で候補者と交渉中。平成29年6月変更書提出予定。「基礎看護学方法論演習Ⅱ」、「基礎看護学実習Ⅰ」、「卒業研究ゼミⅠ」は他に担当教員がいるため、支障はない。
	兼任	准教授			専	教授	マイタニ クニヨ 舞谷 邦代	平成29年4月	看護教育論	平成29年3月 山本澄子教授辞任のため、平成29年度より担当者の変更(29)
専	教授	シマダ ケイコ 島田 啓子	平成29年4月	母性看護論※ 母性看護学演習 母性看護学実習 統合実習 卒業研究ゼミⅠ 卒業研究ゼミⅡ 卒業論文	専	教授	ヤナギハラ マチコ 柳原 真知子	平成29年4月	母性看護論※ 母性看護学演習 母性看護学実習 統合実習 卒業研究ゼミⅠ 卒業研究ゼミⅡ 卒業論文	平成28年11月 島田啓子教授就任辞退のため、平成29年度より新規専任教員を採用(29) 〔平成29年1月 A C教員審査済〕

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	シンタニ ケイコ 新谷 恵子	平成27年4月	基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 成人看護学概論 成人看護論Ⅰ(健康期) 成人看護論Ⅱ(急性期) 成人看護論Ⅲ(回復期) 成人看護論Ⅳ(慢性期) 成人看護論Ⅴ(終末期) 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 統合実習 卒業研究ゼミⅠ 卒業研究ゼミⅡ 卒業論文			後任未定		基礎看護学実習Ⅱ	平成29年3月 新谷恵子教授辞任(29) 「後任未定」平成30年4月 から専任教員採用予定で候補者と交渉中。平成29年6 月変更書提出予定。 「基礎看護学実習Ⅱ」は他 に担当教員がいるため、支 障はない。
							後任未定		基礎看護学実習Ⅰ 成人看護学概論 成人看護学実習Ⅰ 統合実習 卒業研究ゼミⅠ 卒業研究ゼミⅡ 卒業論文	平成29年3月 新谷恵子教授辞任(29) 「後任未定」平成30年4月 から専任教員採用予定及び 平成29年10月から他の専任 教員で担当するべく平成29 年3月変更書提出済み。 「基礎看護学方法論演習 Ⅱ」、「基礎看護学実習 Ⅰ」は他に担当教員がいる ため、支障はない。
					専	助教	ミヤザキ アヤノ 宮崎 彩乃	平成29年4月	成人看護学実習Ⅱ	平成29年3月 新谷恵子教授辞任のため、平成29 年度より担当者の変更(29) 平成29年1月 AC教員審査済
					兼任	准教授	タナカ カツエ 田中 克恵	平成29年4月	成人看護論Ⅰ(健康期) 成人看護論Ⅱ(急性期) 成人看護論Ⅴ(終末期)	平成29年3月 新谷恵子教授辞任のため、平成29 年度より担当者の変更(29)
					兼任	准教授	マイタニ クニヨ 舞谷 邦代	平成29年4月	成人看護論Ⅲ(回復期) 成人看護論Ⅳ(慢性期)	平成29年3月 新谷恵子教授辞任のため、平成29 年度より担当者の変更(29)
専	教授	フジタ ミツエ 藤田 三恵	平成27年4月	基礎演習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 成人看護論Ⅲ(回復期) 成人看護論Ⅳ(慢性期) 成人看護学演習Ⅰ 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 統合実習 卒業研究ゼミⅠ 卒業研究ゼミⅡ 卒業論文						
専	教授	イテノヤマ リュウジ 一ノ山 隆司	平成27年4月	基礎演習Ⅱ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 精神看護学概論 精神看護論 精神看護学演習 精神看護学実習 統合実習 看護学研究法※ 卒業研究ゼミⅠ 卒業研究ゼミⅡ 卒業論文						
専	教授	ソガ ヒロユキ 曽我 浩之	平成27年4月	解剖生理学Ⅰ 解剖生理学Ⅱ 解剖生理学実習 栄養代謝学 人類遺伝・発生学 免疫学 卒業研究ゼミⅠ 卒業研究ゼミⅡ 卒業論文	専	教授	ハンヤ シズオ 半谷 静雄	平成29年4月	解剖生理学Ⅰ 解剖生理学実習	平成29年3月 曽我浩之教授辞任のため、平成29 年度より担当者の変更(29) 平成29年1月 AC教員審査済
					兼任	教授	モリ ケイジ 森 啓至	平成29年4月	解剖生理学Ⅱ 栄養代謝学 人類遺伝・発生学	平成29年3月 曽我浩之教授辞任のため、平成29 年度より担当者の変更(29)
							後任未定		免疫学 卒業研究ゼミⅠ 卒業研究ゼミⅡ 卒業論文	平成29年3月 曽我浩之教授辞任(29) 「後任未定」平成30年4月 から専任教員採用予定。平 成29年6月変更書提出予 定。 「卒業研究ゼミⅠ」は他に 担当教員がいるため、支障 はない。

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	ヒコ キヨミ彦 聖美	平成28年4月	在宅看護学概論 在宅看護論※ 在宅看護学演習 在宅看護学実習 統合実習 卒業研究ゼミⅠ 卒業研究ゼミⅡ 卒業論文						
専	教授	ヨシオカ カズミ吉岡 一実	平成27年4月	看護倫理 看護情報論 基礎看護学方法論 基礎看護学方法論演習Ⅰ 基礎看護学方法論演習Ⅱ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 精神看護学実習 統合実習 看護学研究法※ 卒業研究ゼミⅠ 卒業研究ゼミⅡ 卒業論文			後任未定		看護倫理 基礎看護学方法論 基礎看護学方法論演習Ⅰ 基礎看護学方法論演習Ⅱ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 精神看護学実習 統合実習 看護学研究法※ 卒業研究ゼミⅠ 卒業研究ゼミⅡ 卒業論文	平成29年3月 吉岡一実教授辞任(29) 「後任未定」平成30年4月から専任教員採用予定及び平成29年10月から他の専任教員で担当するべく平成29年6月変更書提出予定。 「基礎看護学方法論演習Ⅱ」、「基礎看護学実習Ⅰ」、「卒業研究ゼミⅠ」は他に担当教員がいるため、支障はない。
					兼任	准教授	タナカ カツエ田中 克恵	平成29年4月	看護情報論	平成29年3月 吉岡一実教授辞任のため、平成29年度より担当者の変更(29)
専	教授	ヒガイ シゲカ樋貝 繁香	平成27年4月	ボランティア活動Ⅰ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 小児看護学概論 小児看護論※ 小児看護学演習 小児看護学実習 統合実習 卒業研究ゼミⅠ 卒業研究ゼミⅡ 卒業論文						
専	准教授	アサミ ミチエ浅見 美千江	平成27年4月	在宅看護論※ 在宅看護学演習 在宅看護学実習 統合実習 卒業研究ゼミⅠ 卒業研究ゼミⅡ 卒業論文						
専	准教授	ハラ ユキコ原 元子	平成27年4月	基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ ボランティア活動Ⅰ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 成人看護論Ⅰ(健康期) 成人看護論Ⅱ(急性期) 成人看護学演習Ⅱ 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 統合実習 卒業研究ゼミⅠ 卒業研究ゼミⅡ 卒業論文						

設置時の計画					変更状況					備考	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名		
専	講師	フジカワ キミエ 藤川 君江	平成27年4月	基礎演習Ⅱ ボランティア活動Ⅱ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 精神看護学演習 精神看護学実習 統合実習 卒業研究ゼミⅠ 卒業研究ゼミⅡ 卒業論文			後任未定		基礎演習Ⅱ ボランティア活動Ⅱ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ	平成29年3月 藤川君江講師辞任(29) 「後任未定」平成29年10月 から他の専任教員で担当す るべく平成29年3月変更書 提出済み。 「ボランティア活動Ⅱ」、 「基礎看護学実習Ⅰ」は他 に担当教員がいるため、支 障はない。(29)	
					兼任	准教授	タナカ カツエ 田中 克恵			精神看護学演習	平成29年3月 藤川君江講師辞任のため、平成29 年度より担当者の変更(29)
							後任未定		精神看護学実習 統合実習 卒業研究ゼミⅠ 卒業研究ゼミⅡ 卒業論文	平成29年3月 藤川君江講師辞任(29) 「後任未定」平成30年4月 から専任教員採用予定。平 成29年12月変更書提出予 定。 「卒業研究ゼミⅠ」は他 に担当教員がいるため、支 障はない。(29)	
専	講師	シモダ ユウコ 下田 裕子	平成27年4月	高齢者看護論※ 高齢者看護学演習 高齢者看護学実習 Ⅰ 高齢者看護学実習 Ⅱ 統合実習	専	講師	シモダ ユウコ 下田 裕子	平成27年4月	高齢者看護論※ 高齢者看護学演習 高齢者看護学実習Ⅰ 高齢者看護学実習Ⅱ 統合実習	基礎演習Ⅱ、基礎看護学実習Ⅰ、 卒業研究ゼミⅠ、卒業研究ゼミ Ⅱ、卒業論文の担当を追加(28) 〔平成27年7月〕 A C教員審査済	
専	講師	クメ マサヨ 久米 真代	平成28年4月	高齢者看護学演習 高齢者看護学実習 Ⅰ 高齢者看護学実習 Ⅱ 統合実習 卒業研究ゼミⅠ 卒業研究ゼミⅡ 卒業論文							
専	講師	アズマ トモヒロ 東 知宏	平成27年4月	基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ ボランティア活動 Ⅱ 基礎看護学方法論 演習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 統合実習 看護学研究法※ 卒業研究ゼミⅠ 卒業研究ゼミⅡ 卒業論文	兼任	准教授	マイタニ クニヨ 舞谷 邦代	平成29年4月	基礎演習Ⅰ	平成29年3月 東知宏講師辞任のため、平成29年 度より担当者の変更(29)	
							後任未定		基礎演習Ⅱ ボランティア活動Ⅱ 看護学研究法※	平成29年3月 東知宏講師辞任(29) 「後任未定」平成30年4月 から専任教員採用予定及び 平成29年10月から他の専任 教員で担当するべく平成29 年3月変更書提出済み。 「ボランティア活動Ⅱ」は 他に担当教員がいるため、 支障はない。	
					専	講師	タブチ サチエ 田淵 祥恵	平成29年4月	基礎看護学方法論演 習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 統合実習 卒業研究ゼミⅠ 卒業研究ゼミⅡ 卒業論文	平成29年3月 東知宏講師辞任のため、平成29年 度より担当者の変更(29) 〔平成28年1月〕 A C教員審査済	
専	講師	ドウケン ユキコ 道券 夕紀子	平成28年4月	ボランティア活動 Ⅱ 基礎看護学実習Ⅱ 成人看護学演習Ⅱ 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 統合実習 卒業研究ゼミⅠ 卒業研究ゼミⅡ 卒業論文							

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	助教	タケダ ヨウコ 武田 陽子	平成27年4月	基礎演習Ⅱ ボランティア活動Ⅰ ボランティア活動Ⅱ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 在宅看護学実習 統合実習	専	助教	ミヤザキ アノ 宮崎 彩乃	平成29年4月	基礎演習Ⅱ ボランティア活動Ⅰ ボランティア活動Ⅱ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 統合実習	平成29年3月 武田陽子助教辞任のため、平成29年度より担当者の変更(29) 〔平成28年1月 A C教員審査済〕
							後任未定		在宅看護学実習	平成29年3月 武田陽子助教辞任のため、他の専任教員が担当するべく、平成29年12月変更書提出予定(29)
専	助教	ノガミ ムツミ 野上 睦美	平成27年4月	基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ ボランティア活動Ⅰ 基礎看護学方法論 演習Ⅱ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 統合実習						
専	助教	サカイ ミサコ 境 美砂子	平成27年4月	基礎演習Ⅱ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 小児看護論※ 小児看護学演習 小児看護学実習 統合実習						
専	助教	カワムラ ミホ 河村 美芳	平成27年4月	基礎演習Ⅱ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 高齢者看護学実習Ⅰ 高齢者看護学実習Ⅱ 母性看護学演習 母性看護学実習 統合実習	専	助教	カジイ ケイコ 梶井 敬子	平成28年4月	基礎演習Ⅱ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 母性看護学演習 母性看護学実習 統合実習	平成28年3月 河村助教辞任のため、平成28年度より担当者の変更(28) 〔平成28年1月 A C教員審査済〕
							後任未定		高齢者看護学実習Ⅰ 高齢者看護学実習Ⅱ	他の専任教員が担当するべく、平成29年3月変更書提出済み(29) 平成28年3月 河村助教辞任のため、他の専任教員が担当するべく、平成28年10月変更書提出予定(28)
兼任	教授	コヤマ ヨシコ 小山 善子	平成28年10月	診断治療学Ⅴ(精神)						
兼任	教授	タカバタケ トシカズ 高島 利一	平成29年4月	医学英語						
兼任	教授	ヒラグチ マリ 平口 真理	平成28年4月	臨床心理学Ⅰ 臨床心理学Ⅱ	兼任 兼任	講師 講師	ハマトウ テエミ 濱東 千恵美 キタモト フクミ 北本 福美	平成29年4月 平成28年4月	臨床心理学Ⅰ 臨床心理学Ⅱ 心理学	担当者変更のため、兼任教員を削除し兼任教員を追加(29) 担当者変更のため、兼任教員を削除し兼任教員を追加(28)
兼任	教授	コバヤシ テエコ 小林 千恵子	平成29年4月	介護福祉論Ⅰ 介護福祉論Ⅱ	兼任	講師	インガイ サエコ 磯貝 サエ子	平成29年4月	介護福祉論Ⅰ 介護福祉論Ⅱ	担当者変更のため、兼任教員を削除し兼任教員を追加(29)
兼任	教授	ソ テツ 蘇 哲	平成28年4月	言葉と文化(中国語)Ⅰ 言葉と文化(中国語)Ⅱ 東洋史						
兼任	教授	オカモリ セイゴ 岡森 正吾	平成27年10月	保健医療制度論						
兼任	教授	カノウ ヒロシ 加納 宏志	平成27年10月	日本史Ⅰ 日本史Ⅱ						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼担	教授	スギヤマ マサキ 杉山 正樹	平成29年4月	ソーシャルワーク論Ⅰ ソーシャルワーク論Ⅱ						
兼担	教授	オクダ ヒロキ 奥田 裕紀	平成27年4月	心理学 高齢者の心理 障害者の心理	兼担	教授	オクダ ヒロキ 奥田 裕紀	平成27年4月	心理学 高齢者の心理 障害者の心理	心理学の担当を他の兼担教員(濱東千恵美講師)へ変更したことにより担当科目の一部を削除(29)
兼担	教授	カワベ ヒロユキ 川邊 弘之	平成27年4月	情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ 自然科学Ⅳ(化学系) 自然科学概論						
兼担	教授	モリ ケイジ 森 啓至	平成27年4月	自然科学Ⅰ(生物系)	兼担	教授	モリ ケイジ 森 啓至	平成27年4月	自然科学Ⅰ(生物系) 解剖生理学Ⅱ 栄養代謝学 人類遺伝・発生学	解剖生理学Ⅱ、栄養代謝学、人類遺伝・発生学の担当を追加(29)
兼担	教授	マツシタ タカノブ 松下 高信	平成27年10月	スポーツ						
兼担	教授	ウチ ケイズイ 内 慶瑞	平成27年4月	ボランティア入門						
兼担	教授	キバヤシ ツトム 木林 勉	平成27年4月	リハビリテーション概論						
兼担	教授	タケコシ アツシ 竹腰 敦	平成27年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ 言葉と文化(英語)Ⅰ 言葉と文化(英語)Ⅱ						
兼担	准教授	タカシマ チセ 高島 智世	平成28年10月	社会学						
兼担	准教授	モトムラ トモアキ 元村 智明	平成27年4月	社会福祉概論Ⅰ 社会福祉概論Ⅱ						
兼担	講師	キムラ ツヨシ 木村 剛	平成27年4月	情報処理演習Ⅰ 統計学 自然科学Ⅱ(物理系) 自然科学Ⅲ(数学系)						
兼担	講師	ノムラ トモヒロ 野村 智宏	平成27年4月	高齢者福祉論 障害者福祉論						
兼担	助教	オカノ ダイスケ 岡野 大輔	平成27年10月	法学(憲法)Ⅰ 法学Ⅱ 医療関係法 社会保障制度論						
					兼任 兼担	教授	ナラ イサオ 奈良 勲	平成27年4月	リハビリテーション概論	退職したため兼担教員から兼任教員へ変更(29) 科目担当教員を追加したことにより新たに就任(27)
					兼担	教授	サワ シュンジ 澤 俊二	平成27年4月	リハビリテーション概論	科目担当教員を追加したことにより新たに就任(27)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
					兼任	教授	コウノ ミツノ 河野 光伸	平成27年4月	リハビリテーション概論	科目担当教員を追加したことにより新たに就任(27)
兼任	講師	カナガワ カツコ 金川 克子	平成28年10月	地域と看護						
兼任	講師	クロカワ タケト 黒川 威人	平成27年10月	美術	兼任	講師	ホキ シェリ 保木 詩衣吏	平成28年10月	美術	担当者変更のため、新たに就任(28)
兼任	講師	ツジグチ チカコ 辻口 徹子	平成29年4月	災害看護論	兼任	講師	オオツキ マユミ 大月 真由美	平成29年4月	災害看護論	担当者変更のため、新たに就任(28)
兼任	講師	ミノワ エミコ 箕輪 恵美子	平成28年10月	カウンセリング演習						
兼任	講師	イナテ シンジ 稲手 信次	平成28年4月	石川県・白山市の保健医療事情						
兼任	講師	ナガノ ケンイチ 長野 賢一	平成28年4月	微生物学						
兼任	講師	アサヒ トシアキ 旭 敏秋	平成28年4月	診断治療学Ⅲ(周産期)						
兼任	講師	ヤギ マサオ 八木 雅夫	平成28年4月	診断治療学Ⅱ(外科系)※臨床栄養学						
兼任	講師	クボタ コウジ 久保田 幸次	平成27年4月	公衆衛生学						
兼任	講師	ウエウマ ヤスオ 上馬 康生	平成27年4月	白山市の自然と文化						
兼任	講師	コバヤシ ヒロミツ 小林 宏充	平成28年10月	安全管理						
兼任	講師	ハタケ ノリコ 畠 紀子	平成27年4月	レクリエーション活動Ⅰ レクリエーション活動Ⅱ	兼任	講師	削除 シモカワ キミコ 下川 紀美子	平成27年4月	レクリエーション活動Ⅰ	担当者変更により教員を削除。兼任教員(平澤 元章)が当該科目を担当(28) 担当者を変更したことにより新たに就任(27)
					兼任	講師	削除 トシオカ リカ 利岡 理香	平成27年10月	レクリエーション活動Ⅱ	担当者変更により教員を削除。兼任教員(平澤 元章)が当該科目を担当(28) 担当者を変更したことにより新たに就任(27)
兼任	講師	ウラベ タケシ 卜部 健	平成28年4月	診断治療学Ⅰ(内科系)						
兼任	講師	タカサワ カズヤ 高澤 和也	平成28年10月	臨床薬理学						
兼任	講師	ヨコヤマ クニヒコ 横山 邦彦	平成28年4月	疫学・保健統計入門						
兼任	講師	ミツイ マサエ 三井 昌栄	平成29年10月	成人看護学実習Ⅱ						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	タニ タカシ 谷 卓	平成28年4月	診断治療学Ⅱ(外科系)※ 感染防御						
兼任	講師	ヤマシタ ノブコ 山下 伸子	平成29年4月	チーム医療演習						
兼任	講師	ドウカイ サトシ 百海 智	平成28年4月	スポーツ理論	兼任	教授	ヒラサワ モトアキ 平澤 元章	平成28年4月	スポーツ理論 レクリエーション活動Ⅰ レクリエーション活動Ⅱ	担当者変更のため、兼任教員を削除し兼任教員を追加(28)
兼任	講師	ワダ コウイチロウ 和田 康一郎	平成28年4月	日本文学Ⅰ 日本文学Ⅱ						
兼任	講師	カトウ ヒロシ 加藤 博	平成28年10月	環境論						
兼任	講師	ヤマモト タク 山本 卓	平成27年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ						
兼任	講師	コハラ フンエイ 小原 文衛	平成27年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ	兼任	講師	アイカワ タカユキ 相川 隆行	平成29年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ	担当者変更のため、新たに就任(29)
兼任	講師	ウカジ マサコ 宇梶 昌子	平成27年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ 看護英語						
					兼任	講師	チャタニ アケヒサ 茶谷 丹久	平成27年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ	科目担当教員を追加したことにより新たに就任(27)

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成29年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
12 名	6 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)
14	2	5	4	25	10	2	4	4	20	14	2	5	4	25
(10)	(2)	(3)	(4)	(19)						[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。

・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。

・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(A)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(B)）の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	5 名	6 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）

および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。

・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由							
1	教授	島田 啓子	必修	母性看護論	①	※							
			必修	母性看護学演習	①								
			必修	母性看護学実習	①								
			必修	統合実習	①								
			必修	卒業研究ゼミⅠ	①								
			必修	卒業研究ゼミⅡ	①								
			必修	卒業論文	①								
合計 (A)			後任補充状況の集計 (B)										
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)						
1	人	必修	7	科目	必修	7	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	7	科目	計	7	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した**全ての専任教員**の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	助教	河村 美芳	必修	基礎演習Ⅱ	①	※
			必修	基礎看護学実習Ⅰ	①	
			必修	基礎看護学実習Ⅱ	①	
			必修	高齢者看護学実習Ⅰ	③	
			必修	高齢者看護学実習Ⅱ	③	
			必修	母性看護学演習	①	
			必修	母性看護学実習	①	
			必修	統合実習	①	
2	教授	山本 澄子	必修	看護理論	③	※
			必修	基礎看護学方法論演習Ⅰ	③	
			必修	基礎看護学方法論演習Ⅱ	③	
			必修	基礎看護学実習Ⅰ	③	
			必修	基礎看護学実習Ⅱ	③	
			必修	統合実習	③	
			選択	看護教育論	②	
			必修	卒業研究ゼミⅠ	③	
			必修	卒業研究ゼミⅡ	③	
必修	卒業論文	③				
3	教授	新谷 恵子	必修	基礎看護学実習Ⅰ	③	※
			必修	基礎看護学実習Ⅱ	③	
			必修	成人看護学概論	③	
			必修	成人看護論Ⅰ（健康期）	②	
			必修	成人看護論Ⅱ（急性期）	②	
			必修	成人看護論Ⅲ（回復期）	②	
			必修	成人看護論Ⅳ（慢性期）	②	
			必修	成人看護論Ⅴ（終末期）	②	
			必修	成人看護学実習Ⅰ	③	
			必修	成人看護学実習Ⅱ	①	
			必修	統合実習	③	
			必修	卒業研究ゼミⅠ	③	
			必修	卒業研究ゼミⅡ	③	
必修	卒業論文	③				

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由							
4	教授	曾我 浩之	必修	解剖生理学Ⅰ	①	※							
			必修	解剖生理学Ⅱ	②								
			必修	解剖生理学実習	①								
			必修	栄養代謝学	②								
			必修	人類遺伝・発生学	②								
			必修	免疫学	③								
			必修	卒業研究ゼミⅠ	③								
			必修	卒業研究ゼミⅡ	③								
5	教授	吉岡 一実	必修	看護倫理	③	※							
			選択	看護情報論	②								
			必修	基礎看護学方法論	③								
			必修	基礎看護学方法論演習Ⅰ	③								
			必修	基礎看護学方法論演習Ⅱ	③								
			必修	基礎看護学実習Ⅰ	③								
			必修	基礎看護学実習Ⅱ	③								
			必修	精神看護学実習	③								
			必修	統合実習	③								
			必修	看護学研究法	③								
			必修	卒業研究ゼミⅠ	③								
			必修	卒業研究ゼミⅡ	③								
6	講師	藤川 君江	必修	基礎演習Ⅱ	③	※							
			選択	ボランティア活動Ⅱ	③								
			必修	基礎看護学実習Ⅰ	③								
			必修	基礎看護学実習Ⅱ	③								
			必修	精神看護学演習	②								
			必修	精神看護学実習	③								
			必修	統合実習	③								
			必修	卒業研究ゼミⅠ	③								
7	講師	東 知宏	必修	基礎演習Ⅰ	②	※							
			必修	基礎演習Ⅱ	③								
			選択	ボランティア活動Ⅱ	③								
			必修	基礎看護学方法論演習Ⅰ	①								
			必修	基礎看護学実習Ⅰ	①								
			必修	基礎看護学実習Ⅱ	①								
			必修	統合実習	①								
			必修	看護学研究法	③								
			必修	卒業研究ゼミⅠ	①								
8	助教	武田 陽子	必修	基礎演習Ⅱ	①	※							
			選択	ボランティア活動Ⅰ	①								
			選択	ボランティア活動Ⅱ	①								
			必修	基礎看護学実習Ⅰ	①								
			必修	基礎看護学実習Ⅱ	①								
			必修	成人看護学演習Ⅰ	①								
			必修	成人看護学実習Ⅰ	①								
			必修	在宅看護学実習	③								
必修	統合実習	①											
合計 (C)			後任補充状況の集計 (D)										
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)						
8	人	必修	78	科目	必修	22	科目	必修	10	科目	必修	46	科目
		選択	6	科目	選択	2	科目	選択	2	科目	選択	2	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	84	科目	計	24	科目	計	12	科目	計	48	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (A) + (C)			後任補充状況の集計 (B) + (D)					
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
9 人	必修	85 科目	必修	29 科目	必修	10 科目	必修	46 科目
	選択	6 科目	選択	2 科目	選択	2 科目	選択	2 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	91 科目	計	31 科目	計	12 科目	計	48 科目

(注) ・ 就任辞退(未就任)及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

※

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

※ 個人情報等を含む内容については記載いたしません。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
	<p>1. 「基礎看護学方法論演習Ⅰ・Ⅱ」では、ベッド30台を備え、80人の学生が一度に学ぶことができる実習室を使用する計画だが、両科目は担当教員が各2名しかおらず、十分な指導を行うことができるか不明瞭である。そのため、十分な質を持った教育が行えるよう、授業の運営方法や担当教員の補充等について検討すること。</p>	留意事項	平成26年度第3回（1月審査）の教員採用等設置計画変更書（AC教員審査）を提出し、「基礎看護学方法論演習Ⅰ」は山本澄子教授、東知宏講師に加え、吉岡一実教授を科目担当教員とした。また、「基礎看護学方法論演習Ⅱ」は吉岡一実教授、野上睦美助教に加え、山本澄子教授を科目担当教員とした。（27）
設 置 時 (平成27年4月)	<p>2. 一部の演習科目において実施する「問題に基づく学習（PBL：Problem Based Learning）」の実施方法等のうち、以下の点が不明瞭であることから、PBLによる学習の効果が最大限発揮できる方法及び体制となっているか検証を行い、必要であれば計画を修正すること。</p> <p>（1）「小児看護学演習」「母性看護学演習」「精神看護学演習」においては、一つのテーマが1回の授業で完結する小規模なPBLを複数回行う計画であるが、一般的なPBLは一つのテーマを複数回継続的に議論するものであり、PBLの特徴を活かした教育が実現可能かどうか不明瞭である。そのため、適切な効果が得られる授業方法になっているか検証すること。</p>	留意事項	<p>指摘のあった3項目については、3年次前期のPBL関連授業開講までに学部内で授業方法についての検証を行っていく予定である。また、計画の修正が必要な場合は別途、専任教員採用等設置計画変更書（AC教員審査）を提出し、対応していく予定である。（27）</p> <p>引き続き、3年次前期のPBL関連授業開講までに学部内で授業方法についての検証を行っていく。（28）</p> <p>今年度（3年次）前期から開講しているPBL関連授業科目については、事前の検証・検討結果等を踏まえ、他の科目と比較しても助手の人員配置を増やすなどして、計画通り少人数かつきめ細やかな授業運営を行うことにより、最大限の学習効果、確かな技術習得ができるよう実践を開始している。なお、今年度の実施状況等を踏まえ、必要に応じて再検討・検証等を行っていく予定である。（29）</p>

<p>設置時 (平成27年4月)</p>	<p>(2) PBLを用いる演習科目の概要説明において、看護技術をPBLの活用によって身につける旨の記述があるが、PBLによってどのように看護技術を修得するのか不明瞭である。そのため、PBLの成果を看護技術の習得に適切につなげることができるか検証すること。</p> <p>(3) 少人数グループによる学習を行うために必要なファシリテーター等の指導者の配置計画が不明瞭であることから、学習を円滑に実施することができるか検証すること。</p>	<p>留意事項</p>		
	<p>3. 完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について着実に実施すること。</p>	<p>留意事項</p>		<p>引き続き、定年を超える教育職員の採用（看護学部看護学科）に関する特例の適切な運用に努め、教員組織編成の将来構想については、申請書記載通り着実に実施していく予定である。(27)</p> <p>引き続き、申請書記載の通り着実に実施していく予定である。(28)</p> <p>引き続き、申請書記載の通り着実に実施していく予定である。(29)</p>
<p>設置計画履行状況調査時 (平成28年2月)</p>	<p>該当なし</p>			
<p>設置計画履行状況調査時 (平成29年2月)</p>	<p>該当なし</p>			

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<看護学部 看護学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
該当なし	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 企画調査委員会規程及び年次報告（別紙（添付資料1-1、1-2）のとおり）を添付</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 月1回（委員構成は、別紙（添付資料2）のとおり）開催し、毎回、出張等を除き、全ての委員が参加</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ FD研修会の企画・実施 ・ 公開授業の企画・実施 ・ 教育教員表彰制度の検討・実施 ・ 学生との意見交換会の企画・実施 ・ 海外研修の計画・実施 他 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容 （企画調査委員会担当の取組）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ FD研修会（例年2～3回程度） ・ 公開授業（教員相互の授業参観） ・ 教育教員表彰 <p>（企画調査委員会以外の取組）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学生による授業アンケート ・ オフィスアワー ・ 新任教職員研修 ・ 看護学部内FD研修会 <p>b 実施方法 FD研修会については、講師を招請し、例年2～3回程度実施。オフィスアワー、公開授業、学生による授業アンケート（非常勤講師を含む。）は、各セメスター（前・後期）で実施。学生との意見交換会は年1回（学部別）実施している。また、新任教職員研修については、年1回、建学の精神、教育理念、歴史、大学を取り巻く環境等についての研修を行っている。</p>
--

c 開催状況（教員の参加状況含む）

平成28年度、FD研修会については5回開催し、専任教員6～7割が参加。オフィスアワー、学生による授業アンケートについては、非常勤講師を含む全教員の全ての授業を対象に実施している。また、公開授業についても、非常勤講師を含む全教員を対象として前後期の全期間を公開授業期間とし、それぞれ重点期間を設けるなどして教員同士が授業の参観を実施している。教育教員表彰については、毎年、評価項目・基準の見直しを行うとともに、年度最終の教授会後に表彰をしている。また、新任教職員研修については、毎年、年度当初に新任の教職員を対象に実施している。さらに、看護学部においては学部独自のFD研修会を企画し開催している。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

学生による授業アンケートについては、学内ホームページによる結果公開を行っている。公開授業については、参観者の増加及び参観者コメントの利用促進を図るなどして授業改善につなげている。平成28年度のFD研修では、高大接続に関する研修会や外部資金獲得に向けた研修会その他、平成25年度からの中央教育審議会の答申等も踏まえ、例年に引き続き授業改善等に直接役立つ方法や学習支援方策等に関する研修会を開催し、各教員が個々の授業、学生支援に活かしている。例年、マクロレベル（管理者・組織レベル＝教育理念や学園の方針、制度政策や高等教育を含む社会情勢など）とミクロレベル（教員個人レベル、授業・教授法レベルなど）の内容をバランス良く取り入れて実施している。さらに併設の高校、短大の教職員との合同FD・SD研修を開催するなどして授業改善、学生指導等に係る取組の改善を継続して実施し、組織的な教員の質的向上を図っている。また、学部独自のFD研修会なども通して、1年の総括や今後の学生指導等に共通理解を持ち、全学的な方策等の検討も行っている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

上記にも記載した通り、学生による授業アンケートについては、毎年、前期（7月）、後期（1月）に実施（非常勤講師を含む。）している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

上記にも記載した通り、授業アンケートの結果について、教職員に対しては教授会での全体報告に加え、教員個人向けの結果通知も行い、今後の授業改善等に役立つよう周知、活用している。また、学生等に対しては、学内ホームページを通じて随時結果を閲覧、意見等を述べられるよう体制を整備している。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
別紙（添付資料3）のとおり

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成29年8月

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開

・自己点検・評価報告書を作成し、近隣の大学を中心とした高等教育機関及び希望のあった関係者等に配付予定

③ 認証評価を受ける計画

- ・ 1回目の認証評価は、平成20年度に財団法人日本高等教育評価機構を受審しており、「同機構が定める大学評価基準を満たしている」と認定された。また、2回目の認証評価は、平成27年度に同機構（現名称：公益財団法人日本高等教育評価機構）を受審し、「同機構が定める大学評価基準に適合している」と認定されている。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (年 月 日) ※ 平成29年度中を予定